

奈良市インタビュー実施報告

１．日 時 平成１５年６月３０日（月）１５：３０～１７：１５

２．場 所 奈良市役所

３．担当委員 神戸大学大学院法学研究科 教授 山下 淳

４．インタビュー対象者 １２名
（自治会等の方々：７名、ＰＴＡ等の方々：５名）

５．ご意見
自治会、ＰＴＡ等の方々から、以下のようなご意見がありました。

○奈良市内の交通状況について

- ・ 休日は、近距離であっても車やバスを利用するより電車を利用したほうが早く、地元の人には車を使わないようにしている。
- ・ 信号のタイミングが悪いのも渋滞の原因である。
- ・ 高速道路の高架により景観が悪くなるというが、渋滞がある方が景観上、問題である。
- ・ 地図やカーナビ上で主要地方道となっていることで、たくさん車が入ってくるが、実際は、道が狭い道路が多く対向車とすれ違いできないことで、渋滞の原因となっている。
- ・ 道路が狭く、渋滞していることで、もし災害が起きたとしても、救急車も消防車が入れない。
- ・ 歩道が未整備な道路が多く、また道路も狭いため歩行者は危ない。

○迂回路(抜け道)について

- ・ 国道 24 号が渋滞すると、生活道路へ迂回してくることで、住民は生活する上で困っている。
- ・ 迂回車両は、地元の車より他府県の車が多い。さらに他府県の土地感の無い人が生活道路で迷うことで、さらに渋滞を悪化させている。
- ・ 大和北道路の整備も重要であるが、生活道路へ車が流入してこないように、配慮して欲しい。

○通学路について

- ・通学路も歩道が無く、子供が車道を歩き危険である。
- ・通学路にも、多くの迂回車両が入ってくる。またスピードも速い。

○文化財について

- ・住民は、道路建設に伴なう文化財への影響はあまり気にならない。
- ・文化財を気にしては、我々自身の生活が確保できない。文化財より渋滞緩和が重要である。
- ・文化財は誰でも保存すればよいということは考えるが、そのために住民は困っている。
- ・文化財の問題はあると思うが、100%の合意を待っていては、いつまでたっても道路は出来ない。

○大和北道路について

- ・大和北道路が有料の場合、誰も使わず国道 24 号の渋滞は緩和しない。
- ・今後、大極殿が復元され、リニアモーターカーの運行で、観光客が増えた時のことも考えて計画して欲しい。
- ・インターチェンジの設置位置やアクセス道路が重要である。
- ・高速道路の整備も重要であるが、一般道も立体交差化を行い渋滞緩和を行って欲しい。
- ・保存か開発かどちらを選んでも、ある程度の犠牲は伴なう。
- ・渋滞によって大気汚染、騒音等が発生している。まず大和北道路を通す前に、現状の渋滞問題を先に考えて欲しい。また、大和北道路を通す際は、環境にも十分配慮して欲しい。
- ・一日も早く大和北道路を整備して欲しい。

○その他ご意見

- ・もう少し早い段階で、このような住民の意見を聞く機会を設けて欲しかった。
- ・古いものも大切であるが、今、住んでいる我々の便宜も図って欲しい。

以上

大和郡山市インタビュー実施報告

1. 日 時 平成15年5月27日（火） 17:30～19:30

2. 場 所 大和郡山市 南部公民館

3. 担当委員 神戸大学大学院法学研究科 教授 山下 淳

4. インタビュー対象者 10名
（自治会等の方々：5名、PTA等の方々：5名）

5. ご意見
自治会、PTA等の方々から、以下のようなご意見がありました。

○大和郡山市内の交通状況について

- ・大和郡山市内は、鉄道を越える方法として、ほとんど遮断機のため、朝の通勤時間は、特に渋滞が激しい。
- ・国道25号は狭く、歩道未整備区間では、自転車がトラックなどに巻き込まれそうになっているところをよく見る。

○大和中央道について

- ・大和中央道の整備が遅れているため、生活道路に通過車両が入ってくる。
- ・大和中央道が出来てから事故が増えた。子供の事故が心配である。

○迂回路(抜け道)について

- ・国道24号、25号が渋滞しているため、狭い道路へ迂回してくる。
- ・通行禁止規制を導入しているにも関わらず、車が入ってくる。
- ・1台が通ったら次の日は2台、3台と増え、それが一般道路(抜け道)化してくる。

○通学路について

- ・幹線道路につながっている道路、もしくは迂回ルートが通学路になっている場合が多く、危険を感じる。
- ・城下町で道が狭く、通学路においては、狭い道路の真中を車が走り、その両側を子供たちが通学している。基本的に道幅が狭いため、歩行者の通行スペースが確保できない。

○PTAの活動について

- ・学校単位で自分たちの地域について話し合い、市のPTAでは、それらの意見や情報を集約している。
- ・通学路の点検や年に数回話し合いを行い、危険箇所には、カーブミラーや信号、横断歩道等の設置をしてもらっている。しかし、道幅が狭いという根本的な問題に関しては、なかなか対応が難しいようである。
- ・春秋の交通安全期間の時は、通学路に立ち注意喚起を促すが、毎日実施しなくては効果が出ない。交通安全は、自分の意識の中に認識を持つこと、毎日の積み重ねが大切である。

○文化財について

- ・文化財を避けるため少々迂回することになっても、渋滞緩和のため道路を作って欲しい。
- ・渋滞を緩和するため(道路を作るため)に文化財を少々犠牲にすることになっても仕方が無い。

○大和北道路について

- ・高速道路利用者が増え、渋滞緩和が期待されるが、逆に利用者が集中し、国道24号、25号の渋滞を悪化させるのではないか。
- ・遠距離の通過交通だけを優先的に考えるだけでは、県内の渋滞は全然解消しない。
- ・高速道路が出来たとしても、現在の道路網では地域の交通渋滞が解消できないため、一般道やインターチェンジへのアクセス道路も併せて整備すべきである。
- ・整備ポイントは、インターチェンジの位置と接続道路の整備である。
- ・道がよくなり走りやすくなったことで事故が減るかということ、一概にそうとは言えず、走りやすくなったことで、事故が増える場合もある。
- ・道路が出来る前は、騒音等、環境対策は実施するということであったが、完成後やはり少なからず問題が出てくる。
- ・どのルートを選んでも自然が無くなる。
- ・全部が満足できるようなものは絶対できない。トータル的な発想で検討して欲しい。

○その他ご意見

- ・我々だけではなく幅広く一般の方々のご意見を伺って、時間をかけて、よく考えて欲しい。

以上